



もう一度冬はかく

去年はこの布団でよかつた

着るものもやした一匹でよかつた

今年もそのつもりでいた

寒波が来ると今年は冬はかくのやりやあし

とあつた

せしむしの工にジヤケツトがほしい

昔侯甲していい物の甲からジヤケツトを

見つけた

この手の木をレをすの木のやつと

私の細かくて

他にせしむしの工に着るものがない

やしたー自身もうすきで今と工にジヤケツト

はむりだ

うす手のせしむしの工にジヤケツトがない

その手はは買えない

布団はムトのしきふつたが

流石は出まはない

かえは？ とかた口がと見え

かたはかたのつていゝ物木が

左い

次々力多口がはまる

内容も変化する

どうしてか 今の力多口をいつと見る

よい考えは多いが 利用出来ることは何処か

算出を出来る くりかえし じつくり見る

考え

ムートン 羊毛は多量に ひとつのライコン

がある 多量にかくまわれらぬ

ライコンの 羊毛の かん して行く

しきんががある

アフトレヌの上は全体にしくろが入れは

今までのしきん口と同一だ しきも洗たく

が出来た

とりかえのことなく 冬じゅうこれで行く

よかつた 布地の厚さはこれで行く

見つかってよかつた

20<sup>20</sup> / 3